



TITLE:

曆史研究課通信(1回)

AUTHOR(S):

周星

CITATION:

周星. 曆史研究課通信(1回). 天界 1937, 17(197): 430-430

ISSUE DATE:

1937-08-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/167528>

RIGHT:

歴史研究課通信 (1回)

◆當課が觀測部に當分の間居候する事となつて新設されて半年、課長は目下外遊中の事として留守を守る事で精一杯、然し其の間にも6月6日には當課員の有志は伊勢徴古館の保井春海作の天球儀・地球儀、神宮文庫の保井春海自筆の「天文瓊統」の調査を爲す。昨年より今年に亘り2回高知に山本課長と大口副課長は山内家・谷家の天球儀・地球儀の調査を試みられた、愈々課長の歸朝を待つて10月頃に當課の會合を開き、順調な進歩を軌道に載せて課員の募集・研究の題目・方針を審議する豫定、入課希望者と御意見のある方はドシドシと當課宛に御申込みを、尙當課の研究發表機關は天界副讀本たる「銀河」に於いて發表する事となりました。(周 星)

編輯後記 北支に端を發した支那事變も、次第に擴大されるの止むなきに至り、會員中にも既に出征されし方々も多數ある事と思ひます。今後、應召せられる會員は、餘裕あれば、出來得る限り本部に御通知下さるやう願ひます。吾々一同、出征將兵諸氏の勞苦に感謝すると同時に、武運長久を祈つてやまぬ次第であります。

今月も各方面から貴重な論文を集める事が出來、大いに自慢であると共に、執筆諸氏に深く感謝する次第です。(星見)

天 界 第 1 9 7 號 昭和12年8月24日印刷
昭和12年8月25日發行 [定價金30錢] 送料金1錢

編輯兼 發行所	京都市山科、花山天文臺内(振替大阪56765)	東亞天文協會(代表者山本一清)
印刷所	京都市中京區柳馬場三條南入	株式會社似玉堂 [電本426 427.4501]
印刷者	京都市中京區柳馬場三條南入	福井松之助
賣捌所	東京市芝區南佐久間町2の3	恒星社(振替東京64738)